議会だより みなかみ

耳を澄まし
瞳を凝らし
自然の楽の響きを

令和３年（2021年）
1月15日発行
65号

特集
SDGsなこころがけ

バックナンバーが見られます。

群馬県利根郡みなかみ町

１２月定例議会

ＳＤＧｓなこころがけ…… 2
審議内容及び結果 …… 4
一般質問…… 8
この町あるある…… 18

表紙写真：藤原小中学校に伝わる着物を着た児童。18ページ参照。

SDGsなこころがけ

「ＳＤＧｓ」をご存じでしょうか。エスディージーズと読みます。全ての人が幸せに暮らせる世界をつくるために国連サミットで採択された１７の目標です。「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」などが掲げられていて、世界で協力しながら 2030 年までに目標の達成を目指すものです。

こんな難しいことはどうでもよいと思っていませんか。でも、未来を少しでもよい方向に進めたいとも思います。ＳＤＧｓについてわたしたちに何ができるのか考えてみませんか。

SDGsとみなかみ町

水と森林と人を育むみなかみプロジェクト２０３０

～持続可能な発展のモデル地域“ＢＲ”として～

みなかみ町は令和元年にユネスコエコパークとしてＳＤＧｓにチャレンジすることを掲げ【ＳＤＧｓ未来都市】に選定されました。

森林資源を活かす、自伐林家の活動支援、木材の流通促進、木育や環境教育推進等に取り組みます。

また、町の「第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」にもＳＤＧｓの理念との関連性が示されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとわたし

ＳＤＧｓは世界共通の壮大な目標です。そのため自分のこととして身近に感じられないかもしれません。でも、身近なところにＳＤＧｓにつながることがたくさんあります。ＳＤＧｓを「じぶんごと」として、できることは何でしょうか。

例えば買い物のこと

地元の食材を買う

7 8 11 15

- 地元の経済活性化。
- 輸送距離が短いので温室効果ガス削減。

徒歩や自転車で店へ行く

3 7 11

- 健康維持。
- 温室効果ガス削減。

必要な分だけ買う

2 7 12 16

- ゴミを減らす。
- ごみ処理のエネルギーを節約。

食材は消費期限の近いものから買う

2 7 14 15

- 食品ロス削減。
- ごみ処理のエネルギーを節約。

マイバッグを活用

7 12 14

- ゴミを減らす。

例えばゴミのこと

資源ゴミの分別

7 11 12 14 15

- ゴミを減らす。
- ごみ処理のエネルギーを節約。

データでみるＳＤＧｓ

3980トン

町の１年間の可燃ゴミ収集量（令和元年度）

可燃ゴミだけでも町民一人あたり年間約 220kg。昨年度の不燃ゴミ・資源ゴミ処理を加えたごみ処理にかかる費用は約６億３千万円でした。

約3割

町の可燃ゴミに含まれる紙の割合

分ければ資源、混ぜればゴミです。正しく分別し資源ゴミ収集日に無料で出せば、ゴミ袋の節約にもなり家計に優しくなります。

535トン

町の生ゴミ収集量（令和元年度）

農水省の推計によると、まだ食べられるにもかかわらず捨てられる食品（食品ロス）は国内で年間 612 万トン。これは国民１人あたり“お茶碗１杯分”が毎日捨てられているのと同じ量です。

ＳＤＧｓは遠いところにあるのではなく身近にあります。一人一人が毎日の生活を少し変えるだけでＳＤＧｓの達成に近づいていきます。小さなこころがけを積み重ね、世の中を変えていきたいですね。

10月臨時議会あらまし

10月29日に臨時議会が開催された。専決1件、人事1件、その他1件、補正1件を審議した。

審議内容及び結果

人事 監査委員の選任

次の方の人事案に同意した。
髙橋（たかはし） 視朗（しろう） 氏（下牧）

討論 反対 **阿部 賢一 議員**

人物が見識に優れていることには同感であるが、議員経験が2年で町長と親戚関係もある。町民の理解が得られるか、また行政のチェック機関として役割を発揮できるのか懸念を抱いている。

10月議会臨時会議案及び議決結果

	議案番号	議案内容	議決結果
専　決	承認第 9 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致承認
人　事	議案第 78 号	監査委員の選任	賛成多数同意
その他	議案第 79 号	町営温泉センター「三峰の湯」予備源泉ポンプ購入契約の締結	全会一致可決
補　正	議案第 80 号	一般会計補正予算（第5号）	全会一致可決

補正 一般会計　総額　179億5028万円

補正額　5億9281万円

歳出

湯テルメ・谷川管理運営事業…… 121 万円
谷川岳インフォメーションセンター周辺整備事業 110 万円
農林水産業施設災害復旧事業 …… 3 億 7739 万円
土木施設災害復旧事業…… 2 億 1250 万円
その他…… 61 万円

歳入

災害復旧事業受益者分担金……308 万円
国庫支出金…… 5339 万円
県支出金…… 1 億 3800 万円
財政調整基金繰入金…… 1 億 9684 万円
町債…… 2 億 150 万円

（端数処理あり）

みなかみ町議会月夜野地区統合小学校の理想の教育環境検討特別委員会 7名

月夜野地区の3校の小学校統合は、町長から諮問を受けた教育委員会において適地の検討が始められました。この特別委員会は、月夜野地区の新しい小学校の理想の教育環境についての調査・研究を目的に設置しました。

12月議会あらまし

11月30日から12月10日までの会期で12月定例議会を開いた。発議2件、人事1件、条例9件、その他26件、補正予算1件を審議した。一般質問は6人であった（8～14頁）。

議会の流れ

11月30日 本会議
12月1日 本会議
一般質問
12月2日 本会議
一般質問
議会全員協議会
議会運営委員会
12月3～7日 常任委員会
総務文教常任委員会
厚生常任委員会
産業観光常任委員会
12月8日 特別委員会
議会だより編集特別委員会
12月9日 議会全員協議会
12月10日 本会議

審議内容及び結果

発議 理想の教育環境検討特別委員会

月夜野地区統合小学校の教育環境を検討するため、特別委員会を設置した。委員の紹介は4頁。

人事 監査委員の選任

次の方の人事案に同意した。
澁谷（しぶや） 正誼（まさよし） 氏（後閑）

その他 沼田市と協定

地方創生を進めるうえでは市町村間の連携が必要で、中心市である沼田市と利根沼田地域定住自立圏形成に関する協定を締結する。今後は既に連携が済んでいる事業や、連携が容易なものから医療・福祉・教育など9分野15事業の協定を結ぶ予定。

防災情報配信システム整備

町内統一の防災情報伝達システム整備工事の契約。

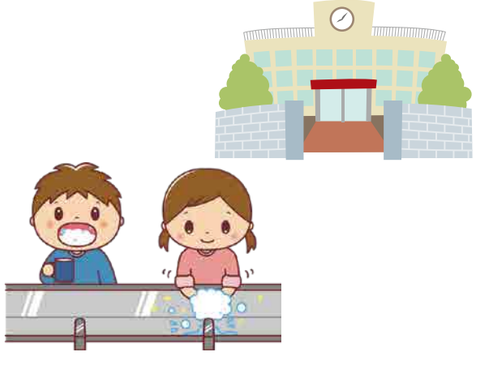
質 今回の契約でどこまで整備され、全ての運用はいつからか。

答 アプリで情報配信するシステム構築、屋外拡声個局整備18局、個別受信機1400台、災害対応システム導入、Jアラートとの連携、登録メールの構築等を一体整備。全ての運用は令和4年3月を予定。

補正

質 学校保健特別対策事業備品購入費（コロナ対策分）の主旨と具体的な用途は。

答 新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを保障するため、学校での教育活動を支援する費用を補助。水道蛇口の自動水栓化の導入、教室へ加湿できる空気清浄機やアクリルパーティションの増設など学校の実情と実施要綱に沿った支出を予定。



12月定例議会議案及び議決結果

	議案番号	議案内容	議決結果
発議	発議 5 号	みなかみ町議会月夜野地区統合小学校の理想の教育環境検討特別委員会の設置	全会一致可決
	発議 6 号	みなかみ町議会月夜野地区統合小学校の理想の教育環境検討特別委員会委員の指名選任	
人事	議案第 81 号	監査委員の選任	全会一致同意
その他	議案第 82 号	ＧＩＧＡスクール構想実現のための情報機器購入契約の締結	全会一致可決
	議案第 83 号	町立月夜野中学校図書室新築工事請負変更契約の締結	全会一致可決
	議案第 84 号	月夜野学校給食センター食器食缶洗浄機等購入契約の締結	全会一致可決
条例	議案第 85 号	議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	全会一致可決
	議案第 86 号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第 87 号	町長、副町長及び教育長の給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第 88 号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第 89 号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第 90 号	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第 91 号	手数料徴収条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第 92 号	保健福祉センター条例の一部を改正する条例	全会一致可決
その他	議案第 93 号～ 108 号	指定管理者の指定について	全会一致可決
	議案第 109 号	利根沼田学校組合規約の変更に関する協議	全会一致可決
	議案第 110 号	新町まちづくり計画の変更	全会一致可決
	議案第 111 号	沼田市との利根沼田地域定住自立圏形成に関する協定の締結	全会一致可決
補正	議案第 112 号	一般会計補正予算（第６号）	全会一致可決
その他	議案第 113 号	防災情報配信システム整備工事請負契約の締結	全会一致可決
	議案第 114 号	道路メンテナンス補助事業町道粟沢西線藤原湖大橋橋梁補修工事の建設工事請負契約の締結	全会一致可決
	認定第 115 号	社会資本整備総合交付金事業町道悪戸矢瀬線道路新設改良工事（１工区）の建設工事請負契約の締結	全会一致可決
	議案第 116 号	社会資本整備総合交付金事業町道悪戸矢瀬線道路新設改良工事（２工区）の建設工事請負契約の締結	全会一致可決
条例	議案第 117 号	税外諸収入に対する督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例	全会一致可決

藤原湖大橋

補正　一般会計　総額　180億584万円

補正額　5555万円

歳出

猿ヶ京温泉交流公園（満天星の湯）管理運営事業　746 万円
中学生海外派遣事業……△ 664 万円
町指定文化財管理事業……80 万円
土木施設災害復旧事業……1910 万円
その他……3483 万円

歳入

地方交付税……4 億 5337 万円
国庫支出金……999 万円
繰入金……△ 4 億 2960 万円
町債……3180 万円
その他……△ 1001 万円

△はマイナス　（端数処理あり）

請願・陳情　結果表

		請願・陳情件名	請願人・陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
請願	第4号	「日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書」の提出を求める請願書	沼田市坊新田町 1106 戦争させない利根沼田実行委員会 会長　都築　靖	総務文教常任委員会 趣旨採択	全会一致 趣旨採択
請願	第5号	上越新幹線駅名に関する請願について	みなかみ町商工会 会長　入内島　一崇 外１名	総務文教常任委員会 採　択	全会一致 採　択
陳情	第5号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	前橋市本町 3-9-10 群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 石関　貞夫	厚生常任委員会 趣旨採択	全会一致 趣旨採択

指定管理者の指定　〈指定期間：令和３年４月１日～令和６年３月31日〉

施設名称	指定管理者
みなかみ町公衆浴場　いこいの湯	猿ヶ京区
みなかみ町健康福祉施設　湯テルメ・谷川	（株）水の故郷
みなかみ町ふれあい交流館	みなかみ町商工会
みなかみ町猿ヶ京温泉交流公園「満天星の湯」	（株）猿ヶ京温泉夢未来
みなかみ町たくみの家　木工の家	（株）うきもく
みなかみ町ふれあい・やすらぎ温泉センター「上牧　風和の湯」	上牧温泉旅館協同組合
猿ヶ京温泉屋内運動場	猿ヶ京温泉民宿組合
湯宿温泉屋内運動場	みなかみ町ゲートボール協会新治地区
みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設	（株）猿ヶ京温泉夢未来
みなかみ町月夜野学童クラブ	月夜野わんぱくクラブ運営委員会
みなかみ町農林漁業体験実習館（豊楽館）	たくみの里共同事業体
みなかみ町農産物加工施設（福寿茶屋）	たくみの里共同事業体
みなかみ町手づくり郷土の香りの家	たくみの里共同事業体
みなかみ町フルーツ公園（桃李館）	たくみの里共同事業体
みなかみ町月夜野第２学童クラブ	（一社）コトノバ
みなかみ町カルチャーセンター	（一社）みなかみ町シルバー人材センター

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

阿部 賢一 あべ けんいち
①防災
②福祉関係
③リモートワーカー住宅補助制度
④町結婚祝い金の創設

石坂 武 いしざか たけし
①有害鳥獣の適切な処理に向けて
②町道粟沢藤原線トンネルLED化に向けて

窪田 金嘉 くぼた かねよし
①人口減少を考える

茂木 法志 もぎ のりゆき
①まちづくりの実践や実証事業採択のベースづくりと活用方法について
②移住定住支援の具体的策について
③鳥獣害の被害対策について

髙橋 久美子 たかはし くみこ
①被災者支援システムの導入を
②子どもの読書を取り巻く環境と読書通帳の導入
③観光の町としてドッグランの設置を

牧田 直己 まきた なおき
①町営住宅の運営の方針について
②MINAKAMI HEART Payについて
③町内で新型コロナウイルス感染者が出た際の退院後の心のケア等の対応について

阿部 賢一 議員

防災の観点からの迂回路は

町長 調査し出来る対応を考えたい

問 9月9日から10日の集中豪雨災害で町内に多くの災害が発生した。主要道路である国道17号線が通行止めとなり永井・吹路・猿ヶ京区をはじめとする多くの住民の方の交通手段が閉ざされた。

合瀬から入須川への林道整備、赤谷地区から猿ヶ京湯の町への橋・迂回路は地域住民の安心・安全と観光振興の観点から必要ではないか。

答 町長 今後の財政状況を考えると費用対効果を十分検討せざるを得ない。

問 安心・安全のためのインフラ整備は必要だ。防災・減災・国土強じん化ということで首長の責任を果たしていただきたい。

答 町長 現地を調査し出来る対応を考えたい。

問 将来に向けてあらゆる選択肢を排除しないで調査研究するべきでは。

答 町長 社会整備の課題の中で順番をつけながら検討していきたい。

福祉除雪・ゴミ出し支援

問 除雪やゴミ出しが困難な世帯へ行政が手をさしのべる時期に来ている。今まで町を支え義務をはたしている方々への福祉行政を含め方向性を示すべきでは。

答 町長 高齢者等の声を汲み上げ、政策にどう活かしていくか十分検討し、できるものについては対応していきたい。

藤原地区。高齢の方は我慢強くご自身で除雪をしますが、とても大変な作業です。

リモートワーカーへの住宅補助制度

問 ピンチをチャンスに。自治体間競争が厳しい中、この機会に家賃補助制度の考えは。

答 町長 町営住宅を定住促進住宅としてリニューアルし貸し出している。町へ来て下さいというPRをしていきたい。

結婚祝金の創設

問 婚姻届を提出していただいた方へお祝いとして商工会商品券2万円の支給は。

答 町長 個々にお祝いを出すのではなく、結婚後の生活支援をしていきたい。

石坂　武 議員

有害鳥獣の適切処理の考え方は

町長 何らかの対策を考えていく

問 町において、有害鳥獣の適切な処理に向けての考え方は。

答 町長 猟友会の方にお願いしている埋設処理は、場所的にも体力的にも限界があり、何らかの対策を考えていきたい。

問 判例により住宅地での銃器の使用には制限がある。ドラム缶の檻を利用し、ユニック車で運搬する有効な方法がある。地域住民の皆さんの安心・安全のためにも必要と思うが、導入に向けての考え方は。

答 町長 確かに、人家近くでは銃が使えず、檻で捕獲を行っている。獣が入っている檻を人の力だけで運ぶのは大変と思う。今後検討していきたい。

問 狩猟免許取得に向けての補助対応は。

答 町長 現在対応はしてないが、大日本猟友会で補助制度新設の動きがあり、町も担い手対策として積極的に利用していきたい。

問 喫緊の課題である有害鳥獣の焼却施設についての見解は。

答 町長 有害鳥獣捕獲後の処理施設については、その必要性を強く感じている。

問 成田山水上寺にて、有害鳥獣焼却施設設置に向け、町からアクションがあれば、検討するとのことだが見解は。

答 町長 喫緊の課題であるので、研究、検討を重ね、充分に詰めて先方と相談したい。

問 焼却施設については、早急なる対応が必要と思うが見解は。

答 町長 町でもやはり、何か考えなければという認識でいる。

町道粟沢藤原線トンネル LED化への取り組み

問 6月にこの工事の完成時期について確認した。当時年度内で完成すると聞いているが、現在まで動きが全く見えないが。

答 町長 9月に発注したが、材料の入荷に時間を要している。年度内完成を目指して努力している。

問 遅れる理由等、地域住民の皆さんに事前に周知すべきでは。

答 地域整備課長 工事を行うという周知はまだしていないが、工事開始一カ月前頃に藤原3区長さんにお願いし、回覧を予定している。道路利用者に対しては、工事箇所に予告看板を設置したい。

問 関連の法面補修工事については年度内で完了ということか。

答 地域整備課長 今年度いっぱいの工期を予定しているが、12月25日頃には、交通解放ができるということで、工事を進めている。

町道粟沢藤原線（旧粟沢西線。4月から名称が変わりました）の藤原トンネル。

窪田　金嘉 議員

人口減少を考える

町長 総合的な取り組みを長期的、継続的に推進

問 町を背負う子供たちの将来を考え、県内学生たちの通学支援に対する町長の（6月）答弁の補足をお願いしたい。

答 町長 単に通学費を補助するということでなく、町の特性である新幹線が利用できる町の強みを生かして制度を創設。新幹線があるので利用して自宅から通ってもらい地域との関係性から定住につなげる事業。通学費の補助は今のところ創設するつもりはない。

朝の通学風景。民間の集計ですが利根沼田の中学3年生は約640人で、その内約200人が利根沼田管外の高校へ進学します。

問 通学費が随分割高。高校生の通学費用の支援は。バスカードの購入方法が不便。またMINAKAMI HEARTカードの利用は。

答 町長 購入時間の緩和を検討する余地あり。希望に添えるような形にしたい。アプリ化したMINAKAMI HEARTカードがバスの支払いに対応できるか、運行する関越交通と協議したい。

問 地元高校生の要望に応えて、通学費補助金は原資を生み出すことが条件で実施できるか。

答 町長 新施策を考える時は色々な財源を見つけて確保できた時に、取り組んでいく姿勢でやっている。通学費の数字を言われると、本当に救う余地があると思う。よく検討したい。

問 第3子誕生に20万円毎月給付の実現には、できる範囲で3万円でも5万円でもいい。金額にこだわるより実施の実現を目指しては。

答 町長 必要な施策については、予算をつけていくという考え方。新事業を創設する場合は、限られた財源でもあり、廃止できる事業を検討して財源を確保していく必要がある。

問 町長は、「残念ながら、町の施設で黒字化は1カ所。その他の施設は全く赤字。ただ赤字だから止めればよいというふうにはいかない。町が指定管理料を支払っても運営は続けて頂きたいので続けている。今後も個別施設の必要性や採算性を十分に検討」と答弁。国は指定管理者制度に議員が法人役員で参加をなぜ許可しているか。

答 町長 地方公共団体と指定管理者が一般的な取引関係に立つものでないため、いわゆる請負に当たらない。自治法上の兼業禁止の規定は適用されず、議員本人の会社も指定管理者と指定することができる。

茂木 法志 議員

鳥獣害の被害対策は

町長 早急に協議したい

問 来年度に向けてサルの地獄檻の設置、運用と対処方法は。

答 町長
まずは3基で運用したい。令和3年度設置に向けて早急に協議し、設置場所や管理運営方法について詳細を詰めていきたい。

川場村が設置したサルの捕獲檻。
「地獄檻」…おっかない名前です。

問 イノシシなどが捕獲された場合の後処理。分解処理装置についての考えは。

答 町長
この問題は緊急の課題。分解処理装置と焼却施設、どちらが有効なのか併せて検討していきたい。

まちづくりの実践・実証事業採択

問 今後の行政改革、町の活性化の為には民間と住民が参加する環境を整え、官民一体を更に進める必要性があると思う。実証実験、実証事業採択のプラットフォーム創設、チャレンジできる横展開、チャレンジ協定を考えての検討は。

答 町長
複雑化する地域課題を解決する為には、民間企業の力を借りて実証実験に取り組む必要がある。民間人材の知見や実績をどのようにしたら活用できるか調査研究をしていきたい。資源を生かせる仕組みを導入するため、先進事例である（埼玉県）横瀬町と連携することは有意義ではないかと考えている。

移住定住支援の具体的策

問 移住相談件数、そして実際に町を訪れて体験いただける方の人数は増加してくる。
相談の内容として大きく上がるのが住居の課題。賃貸型住宅としてコンテナハウス導入が非常に有効的では。

答 町長
9月末までに9組22名の方が移住されている。移住者のニーズに応じた賃貸住宅を整備していく必要がある。コンテナハウスが定住促進住宅の整備方法として有効かどうかの調査研究を進めた中で、設置箇所や財源の検討を進めていきたい。

問 移住コーディネーターや町の職員にも限りがある。移住希望者が増えてくると、来てくれた方々の交通手段も考える必要性がある。移住希望者へのレンタカーの補助の検討は。

答 町長
移住の希望を持っている方の対応、どういう希望を持っているのか。町内を見回るのにレンタカーの一部補助を出すとか、いろいろなことが考えられる。

髙橋久美子 議員

被災者支援システムの導入を

町長 防災情報配信システム整備で検討

問 気候変動に伴い各地で大規模災害が起きている。
特に、災害発生時には現場対応に人手と時間を要す。災害対応の事務業務は待ったなし。災害発生時の町の現状システムを伺う。

答 町長
被災者支援システムは導入していない。罹災者台帳を作成し表計算ソフトで対応。

問 災害時の危機管理に真に役立つ被災者支援システムといわれている。地方公共団体情報システム機構はこれを無償で希望自治体に提供している。災害のデジタル化の意味で、時に叶った施策。導入の見解は。

答 町長
防災情報配信システムを検討する中で被災者支援システムを含めて検討したい。

読書通帳の導入

問 子どもが読書に親しむ環境を整えていくことは、非常に有用。子どもたちが少しでもわくわくしながら読書通帳を通して、友達同士、家族間での笑顔の輪を広げ、心の豊かさを貯蓄できる読書通帳の導入の見解は。

答 教育長
読書活動の意欲づけの効果も期待できそうな面も考えられるので、他の自治体の導入事例や効果について情報収集しながら導入について検討したい。

ドッグランの設置を

問 今やペットは子どもの人口より多いといわれ、家族の大切な存在。観光地、とりわけ道の駅にドッグランが併設されている所も少なくない。ドッグランの必要性の見解と町の現状は。

答 町長
必要性は高まっている。町内に7カ所。公営施設で清流公園内と湯原温泉公園内が利用されている。

問 両施設とも看板も、使用上の注意事項も整備されていない。とても管理されている状況とは言い難い。たくみの里内の検討は。また、水紀行館の河川整備でグレードアップはお考えか。

答 町長
たくみの里内の設置は考えていない。水紀行館周辺の「かわまちづくり事業」に合わせドッグランについても安全で快適な施設として改善するなど取り組みたい。

長野県の民間のドッグラン

湯原温泉公園のドッグラン

牧田 直己 議員

町営住宅の所得制限見直しは

町長 規制緩和を含め検討

問 町内にある住居の充実は移住定住の観点からも必要。共稼ぎで所得制限がかかり住めない人もいる。町営住宅の利用を促すため所得制限の見直しが必要では。

答 町長
使用料も含め、どんな規制緩和を実現すれば利用者増が望めるか考えていく。

町営住宅上牧団地。上牧駅近くで通勤通学に便利な立地です。

問 町は沼田市に比べるとアパート数が少ない。人口5千人の北海道上士幌町（かみしほろちょう）は賃貸住宅を建設する個人及び法人に対し、定住促進賃貸住宅建設助成事業を行い、10年間で158棟、294件の部屋が建設され、9年目で91・7%の入居に至った。どのように感じるか。

答 町長
非常に素晴らしい取り組みだと思う。定住促進のために民間の方に賃貸住宅を造ってもらう事例は有効。検討していきたい。

問 アパートを管理する個人や法人に対してリフォーム補助金があると、古いアパートを改築し、より質の高いアパートが増えるのでは。

答 町長
定住促進の観点から、検討する余地はある。

MINAKAMI HEART Pay

問 地域内経済循環に可能性を感じるMINAKAMI HEARTカードがアプリ化になった。誰もが使えるための方策は。

答 町長
スマートフォンを利用しなくてもQRコード付き会員カードでも利用可能。会員カードの発行、入金、使用を近くで行える環境を整える。アプリに関してはチャージ場所での丁寧な説明をしていく。

問 チャージされる額が増えるほど町全体にとってメリットになる。チャージ場所も増やすべき。

答 町長
クレジットカードからもチャージができ、加えてチャージ場所も増やし会員増に繋げていく。

新型コロナウイルス感染者の心のケア等

問 町長も私もコロナは誰でも感染するリスクはある。感染者が退院後、地域からの疎外や心理的孤立を与えずに済むような対応が必要では。

答 町長
県の保健予防課、利根沼田保健福祉事務所と連携し相談窓口を開設。一般的な健康相談、衛生指導などを行っていく。

活動報告

厚生常任委員会

10月9日、管内各施設を視察。

新たな委員で所管の施設を視察。喫緊の課題であるごみ行政の現状確認で、アメニティパーク、資源リサイクルセンター。火葬場の施設状況の確認から新治火葬場。9月9日の大雨で一週間強の間断水となった赤谷地区の災害現場。9月の決算で討論された寺間隣接水道組合給水施設の確認の計5カ所を視察した。

資源リサイクルセンターの堆肥を「もっと町民の方に知ってもらい幅広く活用してもらうには」などの課題提起もなされた。

赤谷地区の災害現場は大変な状況で、あらためて大雨の脅威を認識。最近の気候状況からいつどこで起きても不思議でない災害。普段からの備えと対応のシミュレーションの必要性を痛感。

様々な課題が山積しているが町民の方の幸福度アップの為真剣に取り組んでいきたい。

アメニティパーク生ごみ袋分別・脱水装置

９月豪雨で被災した赤谷浄水場の施設

活動報告

厚生常任委員会

10月22日、沼田市 シンエネルギー開発（株）・川場村 ウッドヴィレッジ川場の再生エネルギー施設を視察。

ごみ行政の在り方の方向性を研究

アメニティパークのごみ処理施設が二十二年を経過して、施設の機器の老朽化、RDF処理のコスト高など、様々な課題があるなか、ユネスコエコパークに登録された町、SDGs未来都市に認定された町として、自然共生、持続可能なエネルギーの開発などの視点がごみ行政にも問われると思う。

その視点の一つとして、木質バイオマスを中心に再生エネルギーと蓄電地の有効利用を視察。地域の森林資源の間伐材をチップ化し、それを「熱電弁給ガス化設備」で電気と熱を取り出し、電気は売電したり、熱は農作物や果物栽培のビニールハウスの熱源に利用。地域資源を使いエネルギーの地産地消の取り組みの仕組みを両施設から学んだ。

川場村の「森林（もり）の発電所」隣接のビニールハウス。余剰熱でバナナを試験栽培。

バイオマスエネルギーの取り組みは理想的と思うがごみを利用しての視点からはさらに調査研究が必要と思われる。

活動報告

総務文教常任委員会

10月15日、管内各施設を視察。

地域拠点の確認

地域住民皆さんのサービスの拠点である、新治支所・水上支所の執務状況等を視察した。

コロナ禍注目を浴びる施設

移住・定住等にも期待が持てる、猿ヶ京サテライトオフィスを視察した。

一棟貸しとして活用されており、合宿や家族での利用も可能ということだった。築百三十年の古民家を改修した施設という部分も確認ができた。

学校統合関連施設

水上小学校の移転先であり気象観測所予定地でもある、水上中学校と、令和4年4月1日みなかみ中学校として開校予定の月夜野中学校の現状を視察した。

社会体育館・観光会館等周辺施設

各施設を集合化することにより、将来ランニングコストの減額を目指すことを目的とした、計画的な財政運営の推進計画のある、湯原地区公共施設最適化事業予定地を視察した。

みなかみ地域気象観測所

活動報告

産業観光常任委員会

10月16日、管内各施設を視察。

委員会構成替え後、初会議に先立ち管内視察を行った。

はじめに都市計画道路「町道悪戸矢瀬線」の利根商業高校下の未着工部分を視た。この部分は380mに及ぶ長年の懸案事項であり、重要な道路になる。

続いて新巻平「モギトーレ」の営業状況と柳沼地区「荒廃農地再生事業」でよみがえった農地を視察。

そして最終は「たくみの里活性化事業」で地方創生交付金を活用し、大幅にリニューアルされた豊楽館とその周辺施設を視た。その後「株式会社 たくみの里」社長の西坂氏より、今後のたくみの里の運営に関して説明を受け質疑応答を行った。

観光の拠点であるたくみの里の大いなる繁栄を期待して、半日の日程を予定通り終了した。

月夜野都市計画道路。開通が待たれます。

活動報告

監査委員

11月6日、管内工事監査。

町営赤沢スキー場第1リフト握索機更新工事・消防団第7分団詰所新築工事（猿ヶ京地内）・災害時代替庁舎駐車場整備工事（月夜野地内）の現地調査を行った。

工事が適法かつ合理的・能率的に行われているか、また、経済的に妥当であるか。施工及び管理が適切に行われているか、工事監理・監督は適正に行われているかを重点項目とし、主に関係記録・工事記録写真の閲覧、担当職員等への質問を行い監査した。特に異状がないこと、また契約に関しても問題点がないことを確認した。

消防団第7分団詰所新築工事の現場

活動報告

議会だより編集特別委員会

11月20日、広報研修会に参加。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、二日間、2班に分かれての開催となった。

全国町村議会広報コンクールの審査員を務める芳野政明氏を講師として「議会の見える化 住民との信頼築く議会広報の基本と編集」と題しての講演、その後、当町議会だより63号をクリニックしていただき、総評として具体的で的確な見出しのつけ方、読みやすいレイアウトに習熟するようアドバイスをいただいた。

今後もよりわかりやすく、読みやすい編集に努めていきたい。

研修の一幕。
「読まれない議会だよりに出す意味なし！」
当委員会も常々同じ気持ちで編集しています。

この町あるある

町のお宝紹介

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていくため、議会発で町にある「お宝」を再確認するコーナーです。
「この町には、いろいろある。何もないことない。」
このコーナーでは、皆さんからの情報もお待ちしております。
町のお宝をご存じの方は是非ご一報ください。

藤原の四季

藤原小中学校に「藤原の四季」という銘の着物があります。紬織（つむぎおり）で重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された染色作家志村ふくみさんの作品です。子ども用の一つ身に仕立てられ、衿（えり）に付け紐をして帯の代わりになるようにつくられています。京都にお住まいの志村さんの作品がなぜ藤原にあるのでしょうか。

国語の教科書

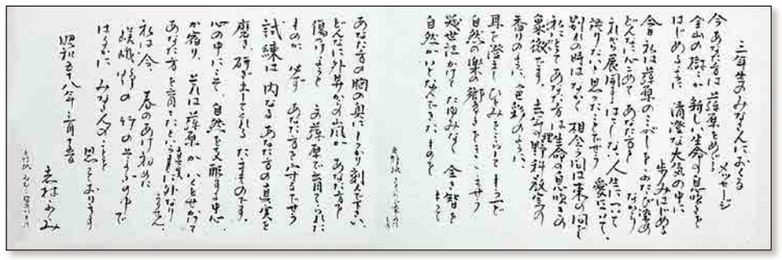
昭和57年。中学2年生の国語教科書に大岡信さんの「言葉の力」という随筆がありました。「桜の花の咲く前に皮をはいで染めたら、上気したような美しい桜色に染まった。それは桜の花弁だけが桜色なのではなくて、花の咲く前の桜は幹も枝も全体で色を貯えているからだ」という志村さんの文を引用し言葉の問題が語られていました。それを読んだ中学生が藤原の山桜で染めてみたい、染め方を教えてくださいと志村さんへ手紙を書いたことから交流が始まりました。

藤原の樹々の香

その後、志村さんは群馬県立美術館で回顧展を開催するのに合わせ、猛吹雪の中、藤原を訪れます。中学校の理科室で染料を準備しながら生徒たちの授業が終わるのを待ちながら、そのときのことを「あちこちで煮立ちはじめた材料から春をさきがける新芽の匂いが理科教室にみちた。こぶしは香油をとるといわれるだけに刺激性のきつい匂いである。槐（えんじゅ）からもさかんに匂いが発散される。桜は果心の香り、それらがいりまじって、樹々の胎内にさまよいこんだようである。授業の終わった生徒たちが待ちかねたように次々に理科教室に入ってくると、一斉に匂いに驚いたようす」と著書のなかで語っています。

一昨年、中学校で行われた「藤原講話」で、当時生徒として理科室にいた方は「その時の匂いを覚えている」と思い出を語ったそうです。その後、志村さんは「藤原の色を織りたい」と願い、生徒たちが染めた糸を「藤原の四季」に織りあげました。

この着物は一面に広がる藤原の風景でした。淡いけれど深く、露（つゆ）をふくんだ木々のようでまだ堅い蕾（つぼみ）のようで生命の連なりを感じます。写真で伝わるでしょうか。三十有余年経てもなおみずみずしい織物、そして志村さんの生徒たちへの思い、ともに町のお宝です。



「幾世紀かけて　たゆみなく　全き智をもって自然がいとなんできたものを
あなた方の胸の奥にしっかり刻んで下さい」
志村さんから生徒たちへのメッセージ（昭和 58 年 3 月 15 日）

ふるさとクイズ

問題

藤原小中学校に伝わる着物の銘は？

Ⓐ 藤原の四季　Ⓑ 谷川の四季
Ⓒ 三国の四季

前回の議会だより 64 号ふるさとクイズの
正解は『Ⓑ １０２歳』でした。

★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下の**ハガキ**または、裏面の**FAX 用紙**などに、クイズの**答え・住所・氏名・議会への伝言**を記入し、お送りください。
※**下のハガキ**は、裏面を記入後に**必ずのり付け**をして投函ください。

〒379-1393　群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・ご意見」係
締切：2021 年 2 月 28 日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせて頂きます。

3790-1390
群馬県利根郡みなかみ町後閑三一八
みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・ご意見」係

――記入欄は裏面にあります――

料金受取人払郵便
沼田局承認
865
差出有効期間
令和５年３月
31日まで
（切手不要）

―切―折―り―線―

ピーカンの平標山頂（フォトコンテストより）

皆さんのおたより

ハガキの方は、この線で切り取り内側へ貼り合わせて投函してください。

FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278−25−8127

○クイズの答え ⇨ ＿＿＿＿＿＿＿＿

○差出人住所 ⇨ 〒

○差出人氏名 ⇨ （ふりがな）＿＿＿＿＿＿＿＿

○年　　代 ⇨ ・～10代　・20代　・30代　・40～60代　・70代～
（該当項目に○印を付けてください）

谷折り線

○議会への伝言

のりしろ　のりしろ　のりしろ

よせられた声

70代～

我が町のお宝、本多岩雄さん、きよのさん、ご長寿おめでとうございます。ますますのご多幸をお祈り申し上げます。

私事ですが昭和21年、色刷りの本を楽しみに入学。手にした本はざら紙の仮の教科書「ヨミカタ」。敗戦の厳しさを感じたことが今も脳裏にやきついています。今は豊かな世の中。あらためて生活を見つめる良い機会とも思います。（布施）

70代～

フルカラー印刷でとても綺麗なのですが、それがイコール見やすい・読みやすいとは思わないです。

色使いが多く焦点がぼやけてしまい却って見にくいと思います。

新聞と比較してみると表題・本文・要点部分の表現の仕方・文字の大きさなど参考になると思います。フルカラーにとらわれず見やすい・読みやすい広報誌にしてもらいたいです。

全体の構成も見直されてはいかがでしょうか。（永井）

〈顔マーク　利根商生　作〉

編集モニターアドバイス

利根商生徒会

64号の移住・定住シリーズを読んで。

移住された理由を見て、改めて自分の住む町の魅力を知ることができた。

64号は記事についての感想を頂きました。移住・定住シリーズのインタビューは、町の素晴らしさを再発見し、更に知らなかった町の魅力を教えて頂くこともあります。

移住された理由に「住む人が魅力的」とあります。住民がwell-being（ウェルビーイング：良好な状態のことで「幸福」と翻訳されることもあります。）な町は魅力的なのだと思います。町民が幸福であるために、議会は何ができるかを考えていきたいと思います。

利根商生の皆さん 活躍！

受賞おめでとうございます

総合ビジネス部

本多舞南さん

利根商総合ビジネス部の本多舞南さんが「群馬イノベーションアワード2020」ビジネスプラン部門高校生の部ファイナリストに選ばれました。

また、総合ビジネス部と情報経済科3年生有志の皆さんは福知山公立大学2020地域活性化コンテスト「田舎力甲子園」で佳作を受賞しました。

これからも活躍を期待しています。

議会傍聴のご案内

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

流れ

①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
③傍聴席へ
④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

次回の定例会は

3月　2日（火）～
3月12日（金）の予定。

場所：役場本庁舎3階議場
時間：開会は9時
席数：34席
【問合せ先】議会事務局
☎25－5023

議会だより編集特別委員会

委　員　長…阿部　　清
副委員長…鈴木　美香
委　　員…窪田　金嘉・本多　公保
　　高橋久美子・森　　健治
　　中島　信義
編集アドバイザー
　　利根川太郎
編集モニター
　　利根商業高等学校生徒

【議会だより編集特別委員会　正・副委員長交代のお知らせ】

新委員長：阿部　清
新副委員長：鈴木　美香

議会だより
みなかみ

町民ひろば

移住・定住シリーズ㉕

友光さんは東京都、芽さんは神奈川県のご出身。
犬のトレーニング等を企画運営するBuddies Dog Service（バディズ ドッグ サービス）を主催し、ドッグトレーナーとしてご活躍のご夫妻を紹介します。

ぼくの名前はチョビ。
保護犬だったんだよ。

犬も家族に

バディズ ドッグ サービス

芦澤（あしざわ） 友光（ともみつ）さん 46歳（大穴区）
芽（めぐ）さん 30歳

芦澤さんご一家。犬は飼い主の笑顔が好きとのこと。関係性を大切にして褒めて伸ばすそうです。

――町を知ったきっかけ

（夫）10年ほど前アウトドア関係への転職を考え就職先を探していた。ネットで「アウトドア」と検索し町を知った。

――なぜ、移住を？

犬を飼いたくて家を買った。

――町の印象は

夜空が黒いことに感激した。星空がきれいで四季を感じられる。

――住んで良かったことは？

四季それぞれの楽しみがあり、その中で子どもと小さな発見をすることができる。

――お困りのことは？

特にない。住み始めたとき水道の凍結で困ったが、近所の方に風呂を貸してもらい助かった。

――抱負は？

保護犬でも正しくトレーニングすれば家族として一緒に生活できる。出張や教室でのトレーニング、預かり施設、トリミングなど犬の総合的なサービスを提供したい。

――提案されたいことは？

観光、キャンプやアウトドアでのペット同伴は多い。ドッグランの整備をすれば集客できるのではないか。

猿による農作物被害を軽減する為、猿を追い払う「モンキードッグ」を活用してはどうか。

チョビはぼくのバディ（相棒）。呼べばちゃんと来るよ。

――議会に一言

せっかくの温泉地なのに廃屋がある。景観条例により統一感のあるまちづくりをしてほしい。

――町民へのメッセージ

田舎は外部の者を受けつけないと思っていた。しかし出会った方々は皆さん良い人だった。人の良さは住んでみないと分からない。受け入れてくれて、ありがとうございました。

編集後記

令和2年は大変な年でしたね。それぞれの立場で、難儀していることとお察し申し上げます。

小雪で始まり、冬季の観光事業者は厳しいシーズンとなりました。

3月より新型コロナウイルス感染対策で国民の移動行動及び大勢での集まりなど自粛となり、町内経済も厳しい状況となりました。我々議会も町民への支援策を積極的に当局へ働きかけ、議員の報酬も8月より令和3年3月分まで10％返上し、コロナ対策に役立てて欲しいと決議しました。

議会及び議員活動も自粛を余儀なくされていますが、町民の皆さんにつながる政策は議会だよりに載せてありますので、御覧ください。

12月の記録的な豪雪は自助共助公助で乗り切っていきたいと想っております。

新型コロナの1日も早い収束を願うと共に、厳しい冬を町民一丸となって乗り切っていければと想っております。（中島　信義）

発行／みなかみ町議会
発行責任者／議長　山田　庄一
〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
☎0278-25-5023
編集／議会だより編集特別委員会
印刷／有限会社 コトブキ印刷 ☎0278-22-5400